

市内58カ所の放射線量率一覧表(保育園・幼稚園・小中学校・高校・公園など)

毎月第2・第4火曜日と同週の木曜日に測定している市内58カ所の放射線量率について、前回との比較ができるよう掲載しています。また、除染状況や取り組み、数字の意味なども随時お知らせします。

(単位:マイクロシーベルト/時)

施設名	測定日		測定の高さ	施設名	測定日		測定の高さ
	1/8・10	1/22・24			1/8・10	1/22・24	
保育園	中央保育園	0.100	0.108	中学校	牛久第一中学校	0.149	0.135
	上町保育園	0.151	0.143		牛久第二中学校	0.156	0.155
	つつじが丘保育園	0.098	0.094		牛久第三中学校	0.123	0.127
	向原保育園	0.084	0.084		下根中学校	0.141	0.139
	栄町保育園	0.135	0.129		牛久南中学校	0.137	0.125
	下根保育園	0.146	0.133	高校	牛久高校	0.155	0.171
	つばめ保育園	0.118	0.108		東洋大学附属牛久高校	0.147	0.151
	つばめ保育園牛久駅前分園	0.106	0.102		牛久栄進高校	0.115	0.098
	ふたばランド保育園	0.125	0.133	その他	こども発達支援センターのぞみ園	0.129	0.114
	つつじが丘ふたばランド保育園	0.088	0.092		神谷小さくら台児童クラブ	0.178	0.165
	牛久保育園	0.111	0.094		教育センターきぼうの広場	0.169	0.182
	牛久ひかり保育園	0.154	0.153		すくすく広場	0.102	0.120
	牛久ふれあい保育園分園	0.143	0.139		牛久クリーンセンター	0.177	0.171
	ひたち野うしく保育園つくしんぼ	0.073	0.073		牛久自然観察の森	0.172	0.163
幼稚園	第二幼稚園	0.139	0.131	二池	0.186	0.190	
	かわい幼稚園	0.157	0.143	公園	ひたち野みずべ公園	0.204	0.178
	牛久幼稚園	0.149	0.137		ひたち野さくら公園	0.083	0.078
	ひたち野牛久幼稚園	0.141	0.145		ひたち野おやま公園	0.079	0.065
	こぼと幼稚園	0.094	0.094		刈谷第1街区公園	0.147	0.143
	フレンド幼稚園	0.094	0.086		本町第1街区公園	0.155	0.151
	牛久文化幼稚園	0.123	0.100		田宮東街区公園	0.082	0.078
	牛久教会こどものいえ幼稚園	0.088	0.094		みどり野第1街区公園	0.084	0.092
小学校	牛久小学校	0.165	0.163		小坂第1街区公園	0.086	0.090
	岡田小学校	0.132	0.120		柏田第2街区公園	0.080	0.084
	奥野小学校	0.141	0.131		栄町第1街区公園	0.063	0.069
	牛久第二小学校	0.163	0.184		牛久運動公園	0.143	0.153
	中根小学校・第一幼稚園	0.123	0.133		牛久運動広場	0.123	0.123
	向台小学校・牛久ふれあい保育園	0.127	0.137		奥野運動広場	0.159	0.167
	神谷小学校	0.112	0.106				
	ひたち野うしく小学校	0.140	0.139				

※測定器: エネルギー補償型ガンマ線用シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株))を使用。
 ※測定の高さ: 小学生以下の子どもが多く利用する施設は地上0.5m、その他施設は地上1mの高さで測定しています。

■追加被ばく線量の低下のために…

市は「年間1ミリシーベルト以下=毎時0.23マイクロシーベルト以下」を目指します。

(環境省が長期的に達成すべき目標としている値)

※既に除染済みの施設に加え、公園や毎時0.23マイクロシーベルト(地上1m)以上の施設は、順次除染を行う予定です。

●**食品に含まれる放射性物質** 食品安全委員会が発行したリーフレットから「食べものと放射性物質のはなし」を紹介します。

Q: 私たちは原発事故以降、どのくらい放射性物質を摂る量が増えたの? また、それは誰が調べたの?

A: 国・研究機関・消費者団体が調査し、いずれの結果でも、大昔から食べてきた食べ物の中の自然放射線量と比べ、きわめて少量でした。食品に含まれる放射性物質から受ける放射線量(1年分)について下記機関が調べています。どの結果も、私たちが原発事故以前から食事を摂ってきた自然放射線量(年間0.4ミリシーベルト※)の約1/20~1/130の量でした。

※原子力安全研究協会「生活環境放射線(平成4年)」から。

食事の中の放射性セシウムによる放射線量(1年分)

調査機関	調査結果(推計)	調査対象
厚生労働省	0.003~0.02ミリシーベルト	東京、宮城、福島の地元または近隣県産を購入して測定
京都大学、朝日新聞社	0.023ミリシーベルト	福島県内の26家族の普段の食事を測定、検出された家族の中央値(うち1家族は検出限界以下)
日本生活協同組合連合会	0.023ミリシーベルト	全国250の家庭の普段の食事を測定、検出された福島県・宮城県の家家庭の中央値(95.6%の家家庭は検出限界以下)

問 放射能対策室(環境政策課内) ☎内線1568、1569